

イー・ウーマン調査

「企業倫理」に関する調査

株式会社 イー・ウーマン
<http://www.ewoman.co.jp/>

企業の偽造問題や、防衛庁長官の不祥事など様々な問題がクローズアップされている。今、社会では組織の「倫理」があらためて問われているのではないだろうか。多くの企業や組織は、「行動規範」や守るべきルールを掲げ、関係者一同が正しい行動のできるように体制を整えることの大切さを知っている。一方で、形を整えるだけでは、人々にその大切さが浸透しないという課題を同時に抱えている。今回、イー・ウーマンでは、そうした実態を調査するため、リーダーズの身近な「倫理観」について問い合わせ、587名より回答を得た。

■ 企業(組織)の取組み…… グラフ1 グラフ2 グラフ3 グラフ4

「倫理基準が定められていますか?」という問い合わせに対して、「ある」と回答したのが53.8%と、半数以上を占めていた。また、「あなたの会社には、行動指針(行動規範)などがありますか?」と聞いたところ、65.6%が「ある」と回答した。全体としては、「指針・規範・基準」などの方針を掲げている企業の方が多い傾向がわかる。

一方、「あなたは、自分の生き方の価値観と違う仕事を職場でしたことがありますか?」という問い合わせに対しては、58.3%が「ある」と回答した。その理由を聞くと、「仕事だから」が最も多く74.8%、「強制されたから」と回答した7.7%をあわせると、約8割以上が自分の本心とは異なる気持ちで、仕事に向か合っていることが想定される。

■ コンプライアンス(法令遵守)とエシックス(倫理) …… グラフ5 グラフ6

「今の会社は、法を犯してはいませんが、倫理観的に疑問をもつところがあり、自分なりに割り切って仕事をしている部分がある。自分の倫理観に近い方向へと会社を動かしていきたいと思いつつも、限界を感じている。「公的な職場だが、とにかく覇気がなく、自分さえよければいいといった風潮で、不祥事まではないが、サービス向上等は机上の空論でしかない。申請主義が当たり前なので市民は知らずに不利益をこうむることが多いのではないか」と日々感じている。常識が崩壊している。」などの自由回答に見られるように、法を犯さずに正しい仕事をするという観点の「コンプライアンス」と、何が正しいのか自分で考え、それに基づいて行動できるという観点の「倫理観」、この違いを理解することが大切であるように思う。

実際、「会社で、法に触れなくても、倫理的に疑問を持つような行為をする同僚、上司、部下を見たことがありますか?」と聞いたところ、「ある」と回答したのは419名(71.4%)となった。また、「それはどのような行為でしたか?」と聞いたところ、最も多かったのは「ハラスメント」で57.8%、次に「差別」39.6%、「隠蔽」25.8%と続いた。17.7%の「その他」の内容を見ると、交通費、飲食代、残業代、出張費などの「不正な請求」と「経費の不正利用」に関するもの、情報漏えい、個人情報の閲覧など「情報の不正な取り扱い」に関するものなどが見られた。

■ 重要! 報告・相談のしくみ…… グラフ7

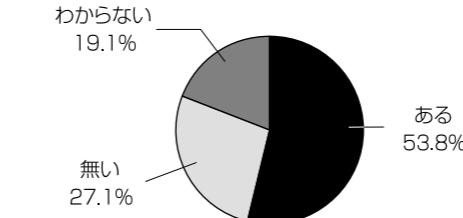
前述の、倫理的に疑問を持つような行為を見たと回答した419名について、「誰かに報告や相談をしましたか?」と聞いたところ、約47%が報告・相談をしたと回答し、半数以上は報告・相談をしなかったと回答した。それぞれについて、その後、「どのような対応、結果になりましたか?」と聞いたところ全体的には「自然に話が消滅した」が最も多く、約4割を占める。一方、「関係者に的確な対処がされた」との回答は、誰かに報告・相談をしたと回答した人の方が、26.2%と、報告・相談をしなかった人の3.7%に比べて、改善に大きく結びついていることがわかる。そこで働く人々にとって、報告や相談の仕組みがあることは、組織の課題解決に効果的であると考えられる。

自由回答の中にも、「今後日本企業がグローバルに活躍していくことを望むならビジョンやミッションを明示し、倫理感をもった行動を行うことはグローバル競争では最低条件としてのビジネス基盤」「特に倫理感のないビジネスは先進国として見なされないやり方と思う」という意見があるように、企業や組織の規模に関わらず、「先進国日本」としての、社会全体の風潮を変化させていくような取組みが求められているのではないだろうか。

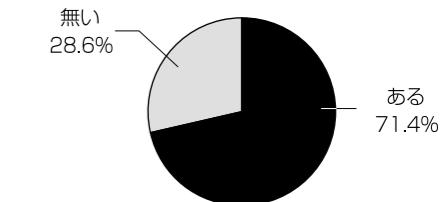
■ ことばと実務の結びつき …… グラフ8

企業の倫理基準やコンプライアンスを整えたとしても、企業全体のビジョンやミッションと結びついて理解できないと、そこで働く人は、並べられたことばや法律やメッセージが、自分の仕事にどのようにつながり、意味を持っているのかを理解しにくいと考えられる。「あなたの会社では企業の「ビジョン」が文書化されていますか?」という問い合わせに対して「はい」と回答した341名(58.1%)に、「会社のビジョンを読んで、または聞いて、わくわくしますか?」と聞いたところ、62.8%が「いいえ」と回答した。ここに、ビジョンが、人の心に届かないヒントがあるように思われる。体制や制度を整えると同時に、そこで働く人の「わくわく感」をくすぐる仕掛けが、求められているのではないだろうか。

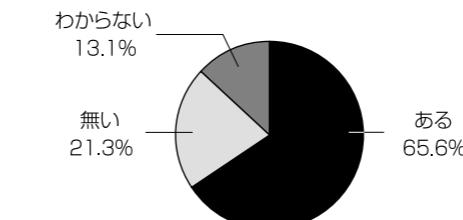
グラフ1 あなたの会社には、倫理基準が定められていますか?



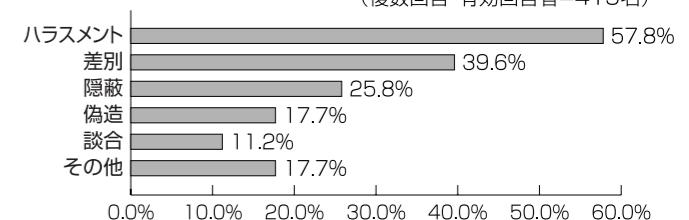
グラフ5 会社で、法に触れなくても、倫理的に疑問を持つような行為をする同僚、上司、部下を見たことがありますか?



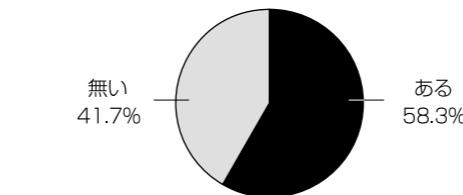
グラフ2 あなたの会社には、行動指針(行動規範)などがありますか?



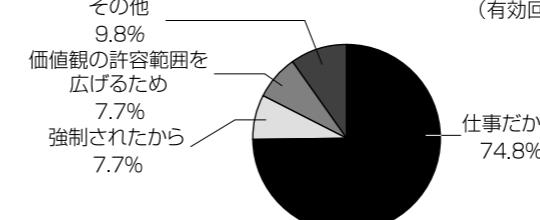
グラフ6 それはどのような行為でしたか? 当てはまるもの全てお選びください。(複数回答・有効回答者=419名)



グラフ3 あなたは、自分の生き方の価値観と違う仕事を職場でしたことがありますか?

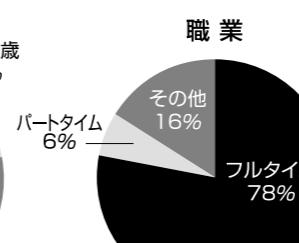
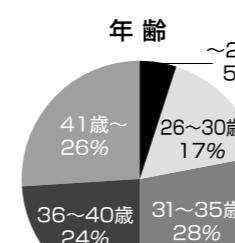


グラフ4 「ある」と回答した方にお聞きします。それはなぜですか?(有効回答数=349)



<調査概要>
調査実施:2008年1月17日(木)～1月22日(火)
調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
対象:イー・ウーマンリーダーズ
有効回答数:587名

LEADERS DATA



グラフ8 会社のビジョンを読んで、または聞いて、わくわくしますか?(有効回答数=341)

